認知機能低下がある方に対して

私たちに出来る対応

例1. 同じ話を繰り返す時

不安そうな表情の時

・相手の不安を理解し、話を聞いてみる
・話の目的を聞いてみる
・伝わっている事を理解してもらうため
　オウム返しに話を聞いてみる

イライラしてしまう時

・お互いのストレスにつながるため、
　自分を責めない
・対応できる時間を伝えてから話を聞く
＊「〇〇をしているから〇分待ってください」

言わない方が良い言葉

・「さっきも聞いた」「また同じ話をして」等
＊不安な気持ちを助長する可能性が高い

例2. 不安そうに道を歩いている高齢者を見つけた時

お声がけ

「あいさつ」「どうされましたか」「お困りですか」
「お手伝いできることがありますか」

ヘルプマーク

その他の対応

家族、地域の見守り隊、警察官に相談
本人の立ち寄りそうな場所に事前に相談しておく
GPSの活用、倉敷市安心おかえりシール、ヘルプマーク

必要に応じてかかりつけ医や高齢者支援センターに相談しましょう

川崎医科大学附属病院 認知症疾患医療センター